

《理事長告示》

新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大予防の観点から、体育館を使った入学式を行うことが出来ず、このような形で、皆さんに話をする事になりましたことをご了承下さい。

本来であれば、希望に満ちあふれ、これからの高校生活に思いを巡らして

いるはずであったでしょう。しかし、現実には、新型コロナウイルスという未知の存在との戦いで、疲れ切ってしまう方もいるかも知れません。

「人生は苦しみである」

仏教を開いた、ゴータマ・シッダールタの言葉です。

そして、苦しみをどう克服するのか、を仏教では説いています。

皆さん、これから高校生活が始まりますが、人生には、様々なことが起こります。楽しいこと、うれしいこと、辛いこと、苦しいこと、悲しいこと、

頭にくること、そういった様々な経験を通して、人間は成長していきます。

そんな皆さんに、本校での高校生活を送るにあたり、ぜひ皆さんに、心掛けていただきたいことを2つ、お話しいたします。

1つめは、「自分の頭で考えて、決断して、行動できるようになれ」ということ

2つめは、「利他精神を持つ」ということ、です。

1つめ 「自分の頭で考えて、決断して、行動できるようになれ」

これまでの15年間の人生を振り返ってみて下さい。

親に言われたことだけやる、先生に言われたことだけやる、という生き方になっていなかったでしょうか？

もちろん、ご両親や先生の教えを守ることは大切ですが、何の考えもなく、ただ言われたことだけを守っているのでは、不十分です。様々な事柄に対して、何故そう考えるのか？、どうしてそう行動するのか？、という視点をもっていただきたい。それが、主体性を持って学ぶことに繋がって行きます。

皆さんも経験があるかと思いますが、自分で決めないで、他人に決めてもらい、それに基づき行動すると、とても楽です。なぜか？それは、自分に責任がないからです。しかし、そのような生き方では、自分自身の手で、自分の幸せをつかみとるのは難しいでしょう。やはりそうではなく、「自分の頭で考えて、決断して、行動できるようになって欲しいと願います。

2つめ 「利他精神を持つ」

本校が位置しております埼玉県深谷市には、郷土の偉人として、渋沢栄一翁が有名であります。2024年に新1万円札の顔になる方です。

日本資本主義の父と呼ばれている渋沢栄一翁は、天保（てんぽう）11年（1840）誕生し、子どもの頃から商売の才能を発揮したそうです。

その渋沢は、「自分の利益を追わずに公の利益を図る」、との考えを生涯にわたって貫き通し、晩年には、社会・教育・文化事業に力を注ぎ、大学や病院の設立など、人々の生活の向上のために大きく貢献されました。

自分の利益幸福のためだけでなく、他人の利益幸福のためにも働かなければ、けっして栄えることはできない、というのが渋沢栄一翁の考え方でありました。

仏教では、他者のために働くことを利他行、利他精神と言いますが、

皆さんにも、自ら学び、自らを高め、身につけた力、自分自身の学問・技術を、家族の幸せのために、周りの仲間を喜ばせるために、世の中を良くするために、国を豊かにするために、世界を平和にするために、・・・より大きなもののために使うことのできる人間になって頂きたいと願っています。

2つ、お話ししました。

「自分の頭で考えて、決断して、行動できるようになれ」

「利他精神を持つ」

ぜひ意識して、取り組んで下さい。

本日が新入生の皆様の良きスタートの日となり、この正智深谷高等学校で、充実した日々を過ごしてくれることを心からお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

令和2年4月7日

学校法人智香寺学園

理事長 松川聖業

《校長式辞》

桜の花は一足早く満開のときを向かえ、皆さんの入学を心待ちにしていました。
新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
今日からここ正智深谷高等学校が、皆さんの母校です。

本来であれば、多くの保護者の皆様と共に、この体育館で直接お祝いを申し上げるところでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、残念ながらその願いは叶いませんでした。皆さんにとっては、卒業式に続いての制限された中での入学式となってしまいました。私たち教職員が、皆さんの入学を歓迎する気持ちに、全く変わりはありません。

さて、皆さんは、それぞれがそれぞれの経緯で本校へ入学してくれました。
中には高校受験で、悔しい思いや、残念な思いをした人もいたかもしれません。
しかし、今日ここで、全ての過去は忘れてください。
今日からが皆さんにとっての新しいスタートです。
高校での3年間は、皆さんの未来につながる大切な3年間です。
ほとんど全ての人が高校へ進学する中学3年生の進路選択とは異なり、高校3年生で迎える進路選択は、皆さんの将来に、そしてある意味人生につながる進路選択になります。
どのような道を選ぶのか、そして、どのような道へ進むのか・・・。
それを決めるのがこれからの3年間です。

これから進んでいく未来には、不安が尽きないかもしれません。高校で友達はあるのか、クラブの練習についていけるのか、ウイルスの感染は収まるのか、休校はいつまで続くのか、といった近い未来から、これから日本の経済はどうなってしまうのか、20年後の自分は何をしているのか…といった先の大きな未来まで考えると、どんどん不安になっていってしまいます。そして、その答えは、誰も知りません。

しかし、必要以上におそれることはありません。今出来ることは、今この瞬間に出来ることに全力を尽くすことしかないのです。今を一生懸命生きるしかないのです。
過去を悔やまず、未来を恐れず、今を全力で生きていって欲しい。
それが、私が入学式で、皆さんに一番伝えたいことです。

目に見えないウイルスとの戦いは、終わりが見えず、不安なことばかりです。国からの緊急事態宣言もまもなく発出されることが発表されています。
ただ、朝の来ない夜はありません。今は個人で出来ることをしっかりとやり、耐えるところをしっかりと

りと耐えていけば、必ずや落ち着きを取り戻す日が来るはずです。平穏な日が再び訪れることを願いながら、正智深谷高等学校で共に学んでいきましょう。

私たちは全力で皆さんを支えていきます。

今と一緒に全力で生きていきましょう。

改めまして、本日はご入学、誠におめでとうございます。

令和2年4月7日

正智深谷高等学校

校長 加藤慎也